

## ●暑さも和らぎ、秋が近づいています。

厳しい暑さもやっとひと段落。のんびり散策しながら、少しずつ近づいている秋を感じてください。

### ○ご存知ですか？秋の七草

●秋の七草について、全てご存知の方は意外と少ないのではないのでしょうか。一部を除いて、この時期の公園内で見ることができますので、ご紹介いたします。まずはハギ。茶畑周辺の園路脇にたくさん植えられています。万葉集で最もよく詠まれる花だそうですよ。



●ハギからさらに南へ進んで、つつじ山の野草園周辺には、丈が長く黄色い花のオミナエシが目立ちます。足元には可憐なピンクのナデシコ（カワラナデシコ）も咲いています。公園のものは花期が早く、今の時期は少なめですので、見つけにくいかも知れません。どちらも近年、減少傾向にあります。

●さらに道なりに進んでいくと、園路脇をススキが囲む通称ススキの小径へと続きます。お月見のお供えとしても使われ、まさに秋の代表的な植物ですね。日本では箱根の仙石原など、風景としても親しまれている一方で、北米では侵略的外来種とされているそうです。



### ■ススキもいろいろ

葉に縞が入った園芸種のタカノハススキは雪華園他で見られます。管理棟西側御所沼の石段にあるマツカサススキは希少種で、園内にはここだけです。ススキの穂とは異なり、松笠（松ぼっくり）に似た小さな穂の集まりを付けることが名前の由来です。



●葛餅の葛粉や漢方の葛根湯などで知られるクズ。つるは作業用や編んで籠にしたり、繊維を葛布として利用したりと古くから生活に密着した植物です。近年では花に含まれるイソフラボンのダイエット効果が注目され、サプリメントにもなっています。良い所しかなく見えるこのクズ、実はその繁殖力の高さや他の植物への影響から、公園でも問題となっている植物です。刈っても根が残り、翌年に繁殖してしまうため駆除が困難であり、その被害は海を越え「世界の侵略的外来種ワースト100」に選定されているほどです。

### ～秋の七草の覚え方

- お おみなえし(女郎花)
- す すすき(芒、薄)
- き ききょう(桔梗)
- な なでしこ(撫子)
- ふ ふじばかま(藤袴)
- く くず(葛)
- は はぎ(萩)

▲語呂合わせで「お好きな服は？」と覚えます。

【季節の花】9月中頃突然顔を出す球根植物のコルチカム。花期は葉がなく、花が終わってから葉が出て、その後休眠します。



B. コスモス (オオハルシヤギク)

【季節の花】管理棟北側のコスモス畑が広がります。ここにはコキアもたくさんありますので、紅葉が楽しみです。【これもススキ?】ふさふさの穂がひと際目立つのはシロガネヨシ。別名西洋ススキ、おばけススキとも呼ばれますが、同じイネ科というだけで、実はそれほど近い種ではないんですよ。

### ○眩しい紅のヒガンバナ

●目洗弁天池周辺など園内各所に咲いて初秋の公園を彩るヒガンバナ。 Sanskrit語で「天界に咲く花」を意味する言葉から「曼珠沙華」とも呼ばれます。その他、地獄花、墓花、葬式花、幽霊花など地域によって1000種を超える異名があるそうで、その多くは不吉な名前というのも特徴です。



【補足】アメリカでは園芸用や飼料として輸入・販売が始まり、土壌流出対策として政府が配布、奨励金を出すなど、当初は積極的に植えられていたが、制御しきれなくなった現在は「グリーンモンスター」と呼ばれるほど被害が拡大しています。

## ●暑さ厳しい夏が過ぎ、疲れが出るこの季節。秋の公園散策でリフレッシュしましょう!